

## 呼吸器内科

部長 中岡 大士 石田 正之

---

### 診療体制

白神実先生が退職し、私と石田正之先生との常勤2名体制に加えて、専攻医の藤原絵理先生は変わらず、三枝寛理先生を迎え、4名体制で診療を行っている。

### 診療の実際

当科の診療方針はこれまでと変わることなく、偏りなく呼吸器領域全般（気管支喘息や各種肺炎などの急性期疾患、COPD や間質性肺疾患などの慢性疾患の診療、肺癌など腫瘍性疾患）の診療に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症は5類となり、診療がその影響に左右される程度はやや減少しているといえるものの、依然として重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患の多い者において診療の脅威となり続けている。本年1年間の新規患者数（入院・外来併せて）は肺炎324例を筆頭に、肺癌142例、気胸88例と続いている（表1）。特にここ数年は新規の肺癌患者の増加が顕著である（2020年78例 2021年104例 2022年125例）。

呼吸器科内の診療にとどまらず、これまで同様、呼吸管理委員会、感染対策委員会、がん化学療法委員会、医療安全委員会などの委員会活動を通して科の枠を超えて病院単位での診療の質の向上に努めている。人工呼吸管理については、診療科を問わず、ほぼすべての呼吸管理患者に適切な陽圧換気および早期離脱を提供するために、呼吸管理チーム（RCT）による呼吸器ラウンドを継続している。詳細は呼吸管理委員会の年報を参考いただきたい。

当科が特に力を入れている診療の一つである内視鏡検査について、本年は164件の気管支鏡検査、5件の局所麻酔下胸腔鏡検査を施行した。検査内容の詳細は以下のとおりで（表2）難治性気胸に対するEWSを用いた気管支充填術も積極的におこなっているが、今年度は気管支内ステント留置術の適応となる症例はなかった。また、重症喘息症例に対する気管支サーモプラスティ治療を本年は1件おこなったが、今後はサーモプラスティに必要な機器を提供しているメーカーの製造終了にともない、サーモプラスティは実施できなくなる見込み。さらに2022年末の12月に高知県では当院でのみ導入されている凍結生検（クライオバイオプシー）も開始し、本年は2件実施した。

悪性腫瘍の疑いでおこなった気管支鏡検査は105件であったが、そのうち正しく診断できた症例は92.4%と高い水準であった。また、気管支鏡検体で遺伝子パネル検査に提出した症例のうち、検体の質や量の問題で解析ができなかった失敗の割合が7.7%であり、成功率は92.3%と高い結果であった。肺癌と診断できた93件のうち、3分の1を上回る34件において手術または定位放射線治療による根治的治療をおこなうことができた。

表 1 主な疾患の新規患者数

疾患名	例数
肺炎（間質性肺炎など非病原体の原因による肺炎を除く）	324
肺癌	142
慢性閉塞性肺疾患	28
気管支喘息	32
膿 胸	38
気 胸	88
結 核	8
ダニ・スギアレルギーに対する舌下免疫療法	2

表 2 内視鏡検査の内訳

全気管支内視鏡	164
EBUS-GS-TBB（ガイドシース併用気管支腔内超音波断層法併用肺生検）	113
EBUS-TBNA（気管支腔内聴音断層法併用下気管支鏡下針生検）	24
気管支肺胞洗浄	7
経気管支凍結生検（クライオ生検）	2
異物除去	6
ステント留置術	0
気管支サーモプラスチック	1
EWS での気管支充填術	2
局所麻酔下胸腔鏡検査	5

## 教育・研究

引き続き、初期・後期研修医の教育ばかりでなく、学生の教育にも力を入れ、印象残った症例であれば、積極的に学会や研究会での報告を行っている。昨年は呼吸器学会中四国地方会、感染症学会西日本総会で専攻医、初期研修医が優秀演題賞を受賞した。

引き続き長崎大学との肺炎の共同研究を行っており、これまで APSG-J、JPAVE J-PAVE2 study に続き全国規模の肺炎疫学研究 APSG-J-2 を行っている。また九州を中心とした肺癌の研究グループ（LOGiK）に参加し、肺癌診療の質の向上を図るとともに、中国・四国呼吸器疾患関連事業包括支援機構（CS-Lung）にも参加し、臨床試験に参加している。今後も臨床診療を中心に、教育、学術的な発信を継続していきたいと考えている。

## 課題

当院に限らず、全国的に呼吸器内科は絶対的な不足状態にある。呼吸器診療の楽しさや魅力を伝え、発信を続け、一人でも多くの次世代を担う呼吸器内科医の育成を行う。また我々の診療をサポート、もしくはともに歩んでいくメディカルスタッフの育成も急務であり継続していく。

## 学術発表・講演会等

### 学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
病理診断で証明しえた肺の腫瘍塞栓性微小血管症による進行性の肺高血圧症をきたした胃癌患者の一例	三枝寛理 藤原絵理 中岡大士 石田正之	呼吸器学会中四国地方会	7月15 ～16日 香川
術前に非小細胞癌と診断して切除した右下葉腫瘤から多型癌と過誤腫が混合して認められた一例	藤原絵理 三枝寛理 中岡大士 石田正之 中嶋絢子	呼吸器学会中四国地方会	7月15 ～16日 香川

<i>Corynebacterium pseudodiphtheriticum</i> による市中発症肺炎の検討	石田正之 馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士	呼吸器学会中四国地方会	7月15 ～16日 香川
病理診断で証明しえた肺の腫瘍塞栓性微小血管症による進行性の肺高血圧症を来した胃癌患者の一例	三枝寛理 藤原絵理 中岡大士 石田正之	内科学会四国地方会	7月23日 高知
進行食道癌の化学療法中に生じ、ニューモシスチス肺炎 (PCP)、薬剤性肺障害と鑑別を要した <i>Corynebacterium pseudodiphtheriticum</i> による市中発症肺炎の一例	藤原絵理 三枝寛理 中岡大士 石田正之	内科学会四国地方会	7月23日 高知
A case of pulmonary nodule caused by Cladosporium species in an adult with diabetes mellitus successfully treated by surgery	Hiroyoshi Saegusa, Eri Fujiwara, Hiroshi Nakaoka, Masayuki Ishida	The 27th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology	11月16日 ～19日 Singapore
肺化膿症の経過中に二次的に合併した <i>Bacillus cereus</i> による肺炎と膿胸の一例	餌取勇介 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士 石田正之	呼吸器学会中四国地方会	12月16日 徳島
EBUS-TBNA 後に医原性の縦隔リンパ節炎・縦隔炎を合併した一例	石田正之 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士	呼吸器学会中四国地方会	12月16日 徳島

## 講演

演題	発表者 共同研究者	講演会名など	開催
高知県での喘息治療の課題	石田正之	Scinetific Exchange Meeting inKochi 喘息増悪「ゼロ」を目指して Atham heartmap 研究に見る喘息悪の現状と、地域に根差した喘息予防	2月6日 高知
気管支喘息治療の変遷と重症喘息の治療戦略-経ロステロイド薬からの脱却を目指して	石田正之	重症喘息 WEB 講演会	6月22日
薬剤耐性 (AMR) 時代の抗菌薬適正使用 -外来気道感染症へのアプローチ-	石田正之	吾川郡医師会講演会	11月17日

## 論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
新型コロナウイルスオミクロン株によると推定された院内クラスターにおける医療従事者を対象としたスクリーニング検査	石田 正之, 近森 幹子, 前野 多希, 桜木 陽子, 錦 信吾, 島田 智恵, 黒須 一見	IASR.	2023;43: 238-240.
Invasive Haemophilus influenzae disease among adults in Japan during 2014-2018.	Hachisu Y, Tamura K, Murakami K, Fujita J, Watanabe H, Tanabe Y, Kuronuma K, Kubota T, Oshima K, Maruyama T, Kasahara K, Nishi J, Abe S, Nakamura M, Kubota M, Hirai S, Ishioka T, Ikenoue C, Fukusumi M, Sunagawa T, Suzuki M, Akeda Y, Oishi K; Adult IHD Study Group.	Infection.	2023;51:355-364.
Effectiveness of mRNA COVID-19 vaccines against symptomatic SARS-CoV-2 infections during the SARS-	Maeda H, Saito N, Igarashi A, Ishida M, Terada M, Ito T, Ikeda H, Kamura H, Motohashi I,	Expert Rev Vaccines.	2023;22:288-298.

CoV-2 Omicron BA.1 and BA.2 epidemic in Japan: vaccine effectiveness real-time surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS).	Kimura Y, Komino M, Arai H, Kuwamitsu O, Akuzawa N, Sando E, Morikawa T, Imura H, Inoue H, Hayakawa T, Teshigahara O, Ohara Y, Suzuki M, Morimoto K.		
Clinically defined aspiration pneumonia is an independent risk factor associated with long-term hospital stay: a prospective cohort study.	Wakabayashi T, Hamaguchi S, Morimoto K; Adult Pneumonia Study Group – Japan.	BMC Pulm Med.	2023;23:351.
Pulmonary hypertension secondary to interstitial fibrosis with pulmonary venous lesions masquerading pulmonary veno-occlusive disease.	Nakayama H, Ishida M, Nakaoka H, Nishimura Y, Imai RI, Sugane H, Hosoda H, Nakaoka Y, Nishida K, Seki SI, Kubokawa SI, Kawai K, Hamashige N, Doi Y.	Respirol Case Rep.	2023;11:e01179.
Reversal of Myocardial Metastasis From Primary Lung Cancer After Successful Chemotherapy.	Kurokawa Y, Nakaoka H, Nishimura Y, Nishida K, Nakaoka Y, Imai RI, Seki SI, Kubokawa SI, Kawai K, Hamashige N, Doi Y.	Circ Rep.	2023;5:267-268.